

飯田市議会社会文教委員会所管事務調査テーマ

「我がまちで子育てを支えていくためには」に関する提案

1 市立病院について

(1)「産科・助産師外来の通路が狭い。お腹が大きいときに、人に気を遣って通らなくてはならない」

一次回答：体重計等の設置場所の検討やあらためて利用者の意見など聞いて対応を検討するが、施設のスペース上難しい状況もある。

【課題・論点】

通路が狭いことについては、もう少し広い範囲で考えられるのではないか。

◆提案

現場を確認する中で、お腹が大きいママ達の不便さや気持ちを実感した。
医療器具やキッズスペースの設置場所など、広い範囲から見直されたい。

(2)「産科・助産師外来に子ども用トイレが無く、小児科まで行かなければならない」

一次回答：現在、病院内に子ども用トイレは設置していないため、子ども用補助便座の設置や表示の検討を行う。

【課題・論点】

広い市立病院の中に、子ども用トイレが一つも無くて良いか。また、設置場所はどこが良いか。

◆提案

応急的な対応としては、子ども用補助便座を必要な個所に配置するとともに、その有無を、配置したトイレの入り口に表示されたい。

しかし、子ども用トイレを適切な場所へ設置することを早急に検討されたい。

2 部活動の地域移行について

【課題・論点 (1)】

部活の地域移行については、議会報告・意見交換会第2分科会において、「もっと意見を聞いて欲しい」「内容がまだよくわからない。導入が近いのに取組が遅いのではないか」など多くの意見が寄せられた。

自治会、まちづくり委員会はじめ、地域とすると「地域移行」「地域展開」という言葉から、地域は何をするのか、何を求められているのか分らない状況となっている。

○委員会協議会における議論から

・「指導者への支援がなくて地域移行は無理じゃないか」「先生は超勤、地元はただ、もっと意見を聞いてほしい」。もっともなご意見が出ております。私ども、ただで地域の皆さんに指導にあたってくれという風にはお願いはしておりませんので、是非ともですね、部活動指導員の制度を使っていただく、指導者の皆さんに報酬を出してほしいというふうに思っております。ただ、これ、指導者によっては、とてもお金まではもらおうと責任が発生してしまうので、逆にもらいたくないってことを強く言われるかもいっっしゃいます」

・「「地域移行の内容がまだよくわからない。導入が近いのに取り組みが遅いのではないか」。ここは大変申し訳なく思っておりますが、先ほどご案内させていただいた広報や動画も作って行っておりますが、まだまだ周知が足りないという風に思っておりますので、引き続き、私どもとすると、とにかく現場へ出て周知啓発に取り組んでまいりたい」

・地域展開という言葉になってきたんで、「地域」って残っているので地域の人たちが待ち構えているんです。そこへの説明が一つの論点。

・地域が、「わからない」って話があって、地域にわかりやすく説明しなさい、これは一つの論点。

・地域とすると分らん、何よって、やっぱり受身で、気にしているわけですよ。だけど議論の中で、中学校ごとに学校長を中心に組み込んでいく。地域とすると地域移行というもので、そのあたりのことをしっかりわかってもらうっていうのは大事なのかなっていうふうには思う。

◆提案

自治会、まちづくり委員会など地域は、「地域移行」という言葉からも、地域は何をするのか、地域に何を求めているのかが分らない不安な状況になっている。

教育委員会の考え方、進め方、方向性について地域に分かりやすく説明されたい。

【課題・論点（2）】

現在は、部活動の地域移行を進めている過渡期であるため、部活動と地域クラブと、所属によって大会出場に関して弊害が生じている。

○委員会協議会における議論から

・具体例を言うと、伊賀良バスケットチームがあって、それは平日、土日活動している。もう一つ、旭ヶ丘中学校バスケット部がある。大会に出場するための登録は、どちらかにしなければならない。どっちでも登録できるけど、旭ヶ丘中学校で登録すると、そこでしか出られない。また、平日はテニスの部活動をして、土日は違う（種類の）スポーツの地域クラブをやるという人もいる。その場合も、大会出場となると同じ弊害が出てくる。これらの混乱をきちんと説明して欲しい。

・今小学校6年生の子たちに、中学生になったときに地域クラブに登録して、地域クラブで大会出場することについてどうするか。部活に入るけど地域クラブで大会に出場するのか、地域クラブに入るけど部活で出場するのか、子どもに選択をしてもらわなきゃいけない現状になっていて、なかなか難しい。

陸上の場合ですと、プリントを配って、保護者の方にも。しかし、保護者から、どういう形がいいでしょうかねって逆に聞かれる。子どもは当然自分のことなので考えている。親にも子どもを通じて周知されてもいいんだけど、なかなか周知されてない場合もある。

・小6と中学生一人ひとりに対して、部活動で登録する、地域クラブで登録する、部活と地域クラブで登録するときに、どの大会には出場できて、どの大会には出場できない、どういう出場の仕方になるかっていうことも書類を作って渡してはいる。しかしそれを、地域クラブの努力としてやるのか、学校の努力として、教育委員会のやるべきこととして説明するのが、ちょっと現場にいるとわからない。

・弊害もきちんと生徒、保護者に説明する。問題は、今の中1年生2年生、小6年生が混乱の中に入っちゃうので、個人ごとに適切に教えるってような感じですか。

◆提案

現在は、部活動の地域移行を進めている過渡期であるため、部活動と地域クラブのどちらに所属し、どちらで登録するかにより、大会出場に関して弊害が生じ混乱している。

令和7年4月に、中学1年生、2年生に進級する一人ひとりの児童・生徒とその保護者に対し早急に、選択できるように適切な説明を行い、周知徹底すること。

【課題・論点（3）】

小学校5年生、6年生の保護者へのアンケート結果を見ると、およそ5割弱の保護者が心配なことがあると答えている。

○委員会協議会における議論から

- ・ 今後はその移動手段とお金の問題を調査研究してください。

◆提案

小学校5年生、6年生の保護者へのアンケート結果を見ると、およそ5割弱の保護者が心配なことがあると答えている。地域クラブに関する情報不足、指導者の資質、送迎、経済的負担など様々なニーズに対して、調査研究し適切に対応されたい。

3 学園構想について

【課題・論点（1）】学園構想の要である特設教科としての「未来創造教育」とは

◆提案：なし （3）の提案に合わせる。

【課題・論点（2）】

「これからの学校のあり方審議会」の委員構成は男性のみでよいのか。また、今後「こども」の意見をどう取り入れていくか。

○委員会協議会における議論から

・「あり方審議会」の参加者は、学識経験者とかPTA会長とか、まちづくりの会長さんたちが入っているので、構成的にはそれなりに各代表の人たちが出てきているっていう中で、やっぱり男性が多い。なんだけど、それこそ、わざわざ今回、所管事務調査でもパパとママの意見に分けてみたら、同じような意見が出てきてないっていうのが現状としてあると思うので、やっぱり、お母さん、母親の立場とかもあっていいんじゃないかなっていうふうには思います。

・ 令和5年、6年のあり方審議会の議事録全部読んでみたけど、まさに男性ばかりですよ、年もそこそこいった。PTA会長とかが出てきていらっしゃるんですけど、学識経験者もいるんですけど、子どもをまん中にした学校作りをしていくっていうことが初期の頃に掲げられているんですけど、子供たちの意見をどうやって今後反映していくんだろうと思うし、実際、大人たちが一生懸命作ったものであるけれども、子供たちは実際どう思ってるのかなっていうのも感じるし、やっぱりそういうことをおっしゃる女性の方はいます。子供たちの意見が反映されてない、女性の意見が反映されてない、とは言わないけれども、どうなの

かっていうことはおっしゃる方はやっぱりいます。今後どうやって、現状で始めるとしても、子供たち中心って、子育ての方でも、子ども真ん中社会って言って、教育の方でも子ども真ん中の学校を作っていくって同じように言っているなら、どうやって 今後は子供の意見を取り入れてやっていくのかなっていうことは、議事録読みながら感じてはいました。

◆提案

「これからの学校のあり方審議会」の構成委員が男性のみとなっている。

社会文教委員会が令和6年に、所管事務調査「我がまちで子育てを支えていくためには」に取り組む中で、聴き取ったママとパパの意見は、必ずしも同じではなかった。このことに配慮しながら、子育て中の保護者の割合を増やされたい。

【課題・論点（3）】

議会報告・意見交換会第2分科会において、「地域とこどもの繋がり」に関し多くの意見が出された。学園構想は、地域と子どもの関わりをどうつくっていくかの課題解決に影響を与えるのではないか。

○委員会協議会における議論から

・全体的に約すると、地域と子どもの関わりをどういうふうに作り、どういうふうに維持していくかっていう悩みですね。やっぱり学園構想が、これから大きくこの問題を解決するにいい方の影響があるんじゃないか。だから、学園構想そのものは学校を対象にしているようなんだけど、実は地域をものすごく大事にしていけないと構想もうまくいかないし、そのことによって子どもたちが地域に馴染む。

・学園についてはその地域と子供っていう、そこに光が当たってくるのだろうと。だから、その学園構想っていうのは地域とは密接不可分の関係なんだろうっていう議論が、そこまで行きました。その視点があるのかな。議論して、あの時、地域のためには、例えば中学生とかっていう話は出たけれど、学園のところは保留にしたんだよね、その視点をね。もう1つそれが残っているというか、大事だっていう共通認識になったところが三つ目の論点になるのかなと。

◆提案

学園構想は、地域と子どもの関わりをどうつくっていくかの課題解決に大きな影響を与えると考える。

その意味から、教育委員会が主体となって、学校、地域、公民館が協同し、「子どもと共に歩む地域づくり」の気運の醸成をはかられたい。

【課題・論点（4）】

市民への周知方法

○委員会協議会における議論から

・ 2月1日は全保護者対象にした説明会を1箇所です。オンライン参加もできる。本当全員に tetoru とか使って案内を出したので、どのぐらいの人が参加をするかっていうところに、ちょっと興味を持っているところです。それでも、人が集まらなかったら、逆に もっとこう集める手立てを取ってやってよっていうことは言えるんじゃないか。

◆提案

学園構想について、保護者、地域、教諭に対して継続して説明されたい。